

市政トピックス

子どもたちが実践したゼロカーボンの取り組みが顕彰を受けました！ 詳細 ゼロカーボン推進室 ☎(57)3666

市内全小・中学校の子どもたちが実践したゼロカーボンの取り組みが評価され、この度、経済産業省北海道経済産業局から顕彰を受けました！

「令和5年度 未来創造こども会議」の中で、子どもたちのアイデアから生まれた3つの取り組みを実践！

＜主な取り組み＞

①全37校ゼロカーボン出前講座

クイズなどを交えながら「楽しく、分かりやすく」をモットーにゼロカーボンについて学びました！

②CO₂CO₂おうちで！ゼロカーボン

夏・冬休みに家庭でできるゼロカーボンの取り組みを実践しました！

③ゼロカーボンスクールチャレンジ宣言！

①・②で学んだことを生かし、各校が「力を入れてチャレンジするゼロカーボンの取り組み」を宣言しました



▲2月26日に行われた顕彰状授与式



◀全校分の宣言ムービーです！ぜひご覧ください！

ライト・イット・アップ・ブルー2026 inとまこまい withいぶり 詳細 障がい福祉課 ☎(32)6356

毎年4月2日は、世界中のランドマークが世界自閉症啓発デーのイメージカラーである「ブルー」にライトアップされます。また、4月2日～8日を発達障がい啓発週間として、自閉症をはじめとする発達障がいについて、広く啓発する活動が行われています。あなたもブルーを身に着けて一緒に参加してみませんか？

2026年の主な活動

●ライト・イット・アップ・ブルー

市内施設15カ所がブルーにライトアップされます。

賛同施設

(学) 絆学園 青空幼稚園、駅前シンボルストリート、科学センター、(福) 緑星の里サポート、市民活動センター、浄土真宗本願寺派正光寺、苫小牧信用金庫本店、苫小牧西港フェリーターミナル、相談支援センターとまるん、nepiaアイスアリーナ、多機能型事業所ひなた、福祉ふれあいセンター、(福) ふれんど高齢者複合施設Ⅲ、PORT OF TOMAKOMAI モニュメント、緑ヶ丘公園展望台



●発達障がい紹介の展示

自閉症やその他の発達障がいを知っていただくため、紹介パネルや関連書籍を展示します。

展示場所 中央図書館、市役所1階ロビー



「隣で暮らしていても当たり前」「隣で働いていても当たり前」の社会の実現を願っています

■自閉スペクトラム症を知っていますか？

自閉スペクトラム症は、相手の気持ちを察することや暗黙のルールなどのあいまいな物事を理解することの難しさ、手順に強くこだわる、些細なことが気になり作業を進められないなど、物事を全体的にとらえにくく限定的になりやすいといった特徴があります。また、文字が動いて見えたり、遠くの音がまるで耳元で鳴っているように聞こえるなど、五感にも特徴がある場合があります。これらの特徴の現れ方は人それぞれであり、生まれつきのものです。私たちは、このような感覚を持っている方がいることを理解し、配慮した環境づくりを進めていく必要があります。

■あいサポーター研修

市では、さまざまな障がい特性を理解し、サポートのノウハウを学ぶことで障がいのある人に温かく接するとともに、障がいのある人が困っているときに「ちょっとした手助け」や配慮を実践する「あいサポーター」を育成します。詳細は障がい福祉課までお問い合わせください。

